

三宝荒神社, 天満社

神道と仏教のいずれでも崇拝されている神様に捧げられた複数の神社が、本殿の裏にあります。三宝荒神社は、仏教における神の 1 人でかまど神の三宝荒神を祀る神社です。また、天満社は、学問の神様である天神様が祀られている神社です。

三宝荒神社と天満社はいずれも、本殿の建設を監督した林正清（1678～1753 年）の息子、林正信（1736～1802 年）が、18 世紀に建てたものです。いずれの神社も、切妻屋根、彫刻が施された軒、そして小さな木造の階段が特徴で、登録有形文化財に指定されています。